



「江古田キャンバスプロジェクト」

- ✓ 2023年10月28日（土）～
制作したポスターなどを、西武線車内や駅構内などで展開！
- ✓ 2023年10月26日（木）～
駅ナカ BGM を西武鉄道公式 YouTube で公開！

西武鉄道株式会社
日本大学芸術学部
武蔵大学
武蔵野音楽大学

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）、日本大学芸術学部（所在：東京都練馬区、学部長：川上 央）、武蔵大学（所在：東京都練馬区、学長：高橋 德行）、武蔵野音楽大学（所在：東京都練馬区、学長：福井 直昭）は、江古田のまち全体を1つのキャンバスに見立て、音楽やアート、カルチャーなど自由な発想・表現で彩り、人と人、人とまちをつなぐことを目的とした「江古田キャンバスプロジェクト」を展開しています。

今年度は「立ち泊まりたくなるまち。江古田」のコンセプトの下、江古田の街を視覚的・聴覚的に記憶に残して定住率を向上させる企画を実施しています。2023年10月末から順次、学生たちが制作したクリエイティブの発信が始まります。

江古田の魅力再発見する宿泊体験（視覚的）

武蔵大学の学生が江古田の魅力味わえる宿泊体験コースを作成し、3大学の学生が体験する様子取材・撮影しました。2023年10月28日（土）より、取材時に日本大学芸術学部写真学科の学生が撮影した素材を元に制作したクリエイティブを江古田の街ナカや西武線の広告媒体などで発信します。

- * 武蔵大学の学生が考案した宿泊体験コースのパネル展示
- * 日本大学芸術学部デザイン学科の学生がデザインしたポスター掲出
- * 日本大学芸術学部写真学科の学生が撮影した写真を活用した車内ビジョンを展開
- * 武蔵大学の学生が宿泊体験取材した記事を Web サイトや SNS で公開

江古田に親しみを持っていただく駅ナカ BGM（聴覚的）

武蔵野音楽大学の学生が江古田エリアをイメージして制作した楽曲を2023年9月13日（水）より、椎名町・東長崎・江古田の3駅で駅ナカ BGM として放送していますが、2023年10月26日（木）より西武鉄道公式 YouTube で公開します。

詳細は別紙のとおりです。



ポスター イメージ

【別紙】

2023年度 江古田キャンバスプロジェクトについて

1. 江古田キャンバスプロジェクト 概要

アートの街として知られる江古田のまち全体を1つのキャンバスに見立て、音楽やアート、カルチャーなど自由な発想・表現で彩り、人と人、人とまちをつないでいくプロジェクト。江古田を走る西武鉄道と、江古田駅周辺にある日本大学芸術学部、武蔵大学、武蔵野音楽大学の学生を中心として、江古田のまちの方と連携しながら江古田のまちの魅力を再発見し、その想いを表現・発信していく取り組みです。

<https://www.seiburailway.jp/railways/ekoda-canvas-project/>

2. 2023年度 企画内容

テーマ：「立ち泊まりたくなるまち。江古田」

学校と駅・自宅の往復のみで生活が完結し、江古田の街の回遊性が低いという課題に着目し、**視覚的・聴覚的**に江古田の街を記憶に残すことで、定住率向上を目指します。

企画内容：

江古田の魅力を再発見する宿泊体験（視覚的）

武蔵大学の学生が、江古田エリアと石神井公園や練馬など西武鉄道沿線でのフィールドワークを通じて江古田の魅力を再発見し、6つの宿泊体験コースを設定。3大学の学生計12名が実際にコースを体験し、日本大学芸術学部写真学科の学生が体験の様子を撮影、武蔵大学の学生が取材します。江古田の魅力を表現したポスターやパネルなどのクリエイティブの発信を通じて、江古田の魅力発信につなげます。

江古田に親しみを持っていただく駅ナカBGM（聴覚的）

武蔵野音楽大学の学生が江古田エリアをイメージした楽曲を2曲（「Figure E」・「Egota Rag」）制作しました。椎名町・東長崎・江古田の3駅で駅ナカBGMとして放送し、江古田エリアへの愛着をさらに醸成します。

3. クリエイティブの発信について

(1) 「江古田のまちの芸術祭」パネル展示

実施期間：2023年10月28日（土）～11月5日（日）

場 所：江古田駅南口 交番横スペース

内 容：武蔵大学の学生が設定した6つの宿泊体験コースをパネルにして展示します。



パネル イメージ

(2) 中吊り、駅貼りポスター

実施期間：2023年11月中旬～

場 所：西武線車内、西武線駅構内

内 容：日本大学芸術学部写真学科が撮影した江古田のまち並みや宿泊体験の写真を活用して、日本大学芸術学部デザイン学科がデザインしたポスターを掲出します。



ポスター イメージ

(3) 車内ビジョン動画

実施期間：2023年11月中旬～

場 所：西武線車内 Smile ビジョン

内 容：日本大学芸術学部写真学科が撮影した江古田のまち並みや宿泊体験の写真を活用して、15秒の動画を放映します。



動画 イメージ

(4) 特設 Web サイト・Instagram

実施期間：2023年12月上旬～

内 容：武蔵大学の学生が体験取材した内容を記事制作し公開します。

*特設 Web サイト <https://www.seiburailway.jp/railways/ekoda-canvas-project/>

*Instagram アカウント https://www.instagram.com/ekoda_canvas_pj/

(5) 駅ナカ BGM (10月26日～)

武蔵野音楽大学の学生が江古田エリアをイメージして制作した楽曲を2023年10月26日(木)より西武鉄道公式 YouTube で公開します。

URL：<https://youtu.be/STxT-noWshU>

<参考>

宿泊体験コースを企画した武蔵大学 学生のコメント

*「子ども心を取り戻そう！」担当 古谷和華さん・島津江颯香さん

この企画を通して、私たち自身もまち周辺を歩いて周り、今まで知らなかったお店や人の温かさに気づくことが出来ました。取材許可を自分たちの足で取りに行くことは初めてだったので緊張しましたが、しっかりと企画内容や趣旨を伝えることで相手に理解してもらうことが大切なのだと学びました。今回のコース以外でも江古田周辺には童心にもどれるスポットがあるので、ぜひ江古田の街に遊びに来てほしいです！

*「おしゃれな休日！カフェ巡り旅！！」担当 渡邊茜里さん

今回巡ったお店を、参加者の方に気に入っていただけたと聞き、とても嬉しかったです。忙しい中でもお店の方々が快く協力してくださり、私自身が江古田の人々のあたたかさを改めて実感しました。参加者の方やみなさんにそれが伝わるといいなと思います。私は企画側でしたが、江古田の美味しいお店や楽しい場所などをたくさん知ることができ、自分自身も江古田をより好きになることができました。

クリエイティブ制作を担当した日本大学芸術学部 学生のコメント

*宿泊体験の写真撮影を担当した写真学科 黄蔚晴さん

今回は2度目の参加でしたが、江古田周辺の飲食店とスポットを開拓する新鮮さは消えることなく、自分も一人の体験者としてプロジェクトを楽しむことができました。また、大学での学びと経験を活かし、参加者の体験を写真という媒体で伝えることができ、とてもやりがいを感じることができました。

*ポスターなどの制作物を担当したデザイン学科 幸田美緒さん

駅や電車でこのポスターを見た人たちに江古田に「立ち泊まりたい」と思ってもらうことが目標だったので、最も江古田が魅力的に見えるように制作しました。三年間通っている大好きな江古田の街の魅力を、こうして皆さんにお伝えするお手伝いをできたことがとても嬉しいです。今回のプロジェクトを通して、こんなにもいっぱいの魅力が詰まった江古田に、たくさんの方が「立ち泊まって」欲しいなと思います。

●今回の取り組みを通じて特に貢献可能な SDGs の目標



◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：全日9時～17時(12/30～1/3を除く)]

以上

—報道関係者問い合わせ先—

西武鉄道 広報部 担当：吉田・渡辺・森川 TEL：04-2926-2045

武蔵大学 広報部 担当：増田・西 TEL：03-5984-3813 Mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

日本大学芸術学部 連携プロジェクト室 担当：田中・八木(写真学科) TEL：03-5995-8410

武蔵野音楽大学 広報室 担当：中島 TEL：03-3992-1125